

2006年1月10日

三菱商事株式会社

三菱商事の自家保険子会社 S&P から格付を取得

～ 再保険事業の拡大を積極推進 ～

三菱商事のキャプティブ保険会社(自家保険会社)であるニューセンチュリー保険会社(New Century Insurance Co., Ltd.)は、スタンダード&プアーズ(S&P)より「シングルAマイナス」の保険財務力格付を取得することになりました。これにより当社は再保険事業のさらなる拡大を狙います。なお、日本企業のキャプティブ保険会社が S&P より取得した格付を公開するのは初のことです。

企業のリスクマネジメント体制がこれまで以上に注目を浴びている中で当社はキャプティブ保険会社であるニューセンチュリー保険会社を活用しリスクマネジメント強化に取り組んでいます。同社は主に当社グループの貨物海上保険、財物保険、賠償責任保険を対象に再保険を引受けていますが、本年より当社グループの収益の大きな柱である石油・ガス、金属などの海外資源事業の再保険引受も開始しています。今回の保険財務格付取得により、マーケットでの同社の信用力がさらに高まり今後の海外資源事業における再保険引受の一層の拡大が見込まれます。当社は、欧米資源メジャー企業と同様に海外資源事業を中心とした事業投資案件について自社権益分の再保険を引受けることで、グローバルベースでのリスクマネジメント強化および保険料の最適化を目指します。

キャプティブ保険会社とは主に保険会社以外の事業会社が所有する自社リスクを専門に引受ける自家保険子会社です。リスクの「保有」と「移転」を財務的に明確化し、リスク処理コスト(保険

料)の最適化を図るものです。また同時に損害低減策の導入を通しリスクマネジメント強化につながる仕組みでもあります。全世界で5,000社以上が設立されており、その取扱高は2兆円を超えています。キャプティブ保険会社は欧米では一般的に利用されている仕組みですが、本邦でもキャプティブ保険会社の設立は増加してきておりリスクマネジメント手法として認知度が高まっています。

なお、当社は本年1月より日本企業のリスクマネジメント支援を目的としてキャプティブ機能の貸し出しを行うレンタキャプティブ事業にも進出しています。企業はレンタキャプティブ会社であるダイヤモンド・フィナンシャル・ソリューションズ(Diamond Financial Solutions Ltd.)を利用することにより自社でキャプティブ保険会社を設立するよりも簡便に、低コストでキャプティブ保険機能活用ができます。当社はニューセンチュリー保険会社とダイヤモンド・フィナンシャル・ソリューションズの2社を中心にして再保険事業の拡大を積極的に推進していきます。

<ニューセンチュリー保険 概要>

社名 :ニューセンチュリー保険会社(株)
(New Century Insurance Co., Ltd.)
所在地 :英領バミューダ ハミルトン市
資本金 :US\$ 150 万米ドル(三菱商事 98.8%出資)
設立 :1986 年
事業内容 :自家保険事業(自社キャプティブ事業)

<ダイヤモンド・フィナンシャル・ソリューションズ 概要>

社名 :ダイヤモンド・フィナンシャル・ソリューションズ(株)
(Diamond Financial Solutions Limited)

所在地 : 英領バミューダ ハミルトン市

資本金 : 100 万米ドル(三菱商事 100%出資)

設立 : 2004 年

事業内容 : 自家保険事業および自家保険機能の貸し出し事業

以上